



2009 年度上期未踏 IT 人材発掘・育成事業 採択案件評価書

1. 担当PM

藤井 彰人 PM(グーグル株式会社 エンタープライズ プロダクト
マーケティング マネージャー、Mashup Awards 1-4 主宰)

2. 採択者氏名

チーフクリエイター: 橋本 翔(慶應義塾大学 政策・メディア研究科 修士課程 2年)
コクリエイター : 植木 淳朗(有限会社 Surroundings 代表取締役)
コクリエイター : 徳久 悟(有限会社うつつ 取締役 クリエイティブディレクター)
コクリエイター : 大久保 創介(有限会社うつつ 取締役 アプリケーションエンジニア)

3. プロジェクト管理組織

株式会社ゴーガ

4. 委託金支払額

5,000,000 円

5. テーマ名

携帯動画自動装飾システムにおける装飾エンジンの開発

6. 関連Webサイト

<http://www.povie.tv>

7. テーマ概要

本プロジェクトでは、かわいいエンジンを用いた携帯動画装飾サービスの開発を行う。かわいいエンジンとは、ユーザの撮影した任意の動画を解析し、対象を装飾することで、対象のかわいさを強化した動画を出力するエンジンである。

本プロジェクトではこのかわいいエンジンを用いた携帯動画装飾サービスを実装する。本サービスでは、ユーザが自身の携帯電話を用いて撮像した映像を、任意のコマンドとともに指定のメールアドレスに送信することで、かわいいエンジンを適用した結果のムービーを取得できるというものである。同時にこれらサービスにおける動画処理をクラウドサーバを介して行うためのシステムを実装する。

本プロジェクトのゴールはクラウドサーバ環境においてかわいいエンジンを用いた動画の自動装飾を行うエンジン部分の開発及び、これらを実際のサービスとして国際的に発信するためのサービスをリリースすることである。

8. 採択理由

動画に対する加工処理そのものには大きな新規性はないものの、サービスとしてのクオリティの高さ、サービスドメインの明確さ、グローバル対応等に、大きな可能性を感じるプロジェクトである。

実現可能性も高いと考えられ、実行基盤やサービス実装において様々なアイデアを付与する事で、発展性も高いサービスと考える。

9. 開発目標

本プロジェクトは、採択当初より、サービス面での実装目標が明確であり、今後ビジネスとして発展性の高いプロジェクトであった。当初の目標は、携帯動画の装飾サービスのみであったが、クリエイターとの議論後、クラウド環境においてスケーラブルに展開可能で、かつ様々な動画に対して装飾が可能な動画装飾エンジンとして実装する目標を追加設定した。また、加えて、日本発の技術をグローバルに展開するため他の動画サービスメディアへの対応を行うこととなった。追加した項目は以下の通りである。

- 1)スケーラブルなサービス展開を実現するための分散処理実装
- 2)動画装飾の汎用化(装飾テンプレート実装、他メディア動画の装飾など)

10. 進捗概要

前期 7-9月

動画解析プログラム、装飾プログラムの実装
実装アーキテクチャの確定
ユーザサービス内容の計画

中期 10-12月

動画解析プログラム、装飾プログラムの実装
分散処理のためのアーキテクチャの検討
ユーザサービス部分の実装

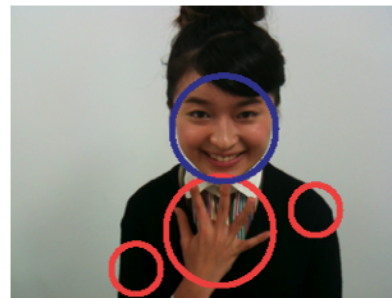
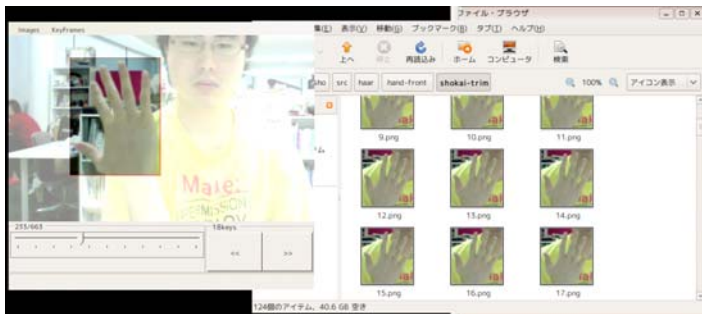
後期 1月-3月

分散処理技術の実装
サービス公開に向けてのウェブサイト作成

11. 成果

当初提案内容の以下の項目を実装し、かつ追加項目の実装も完了している。

1) 動画解析と装飾

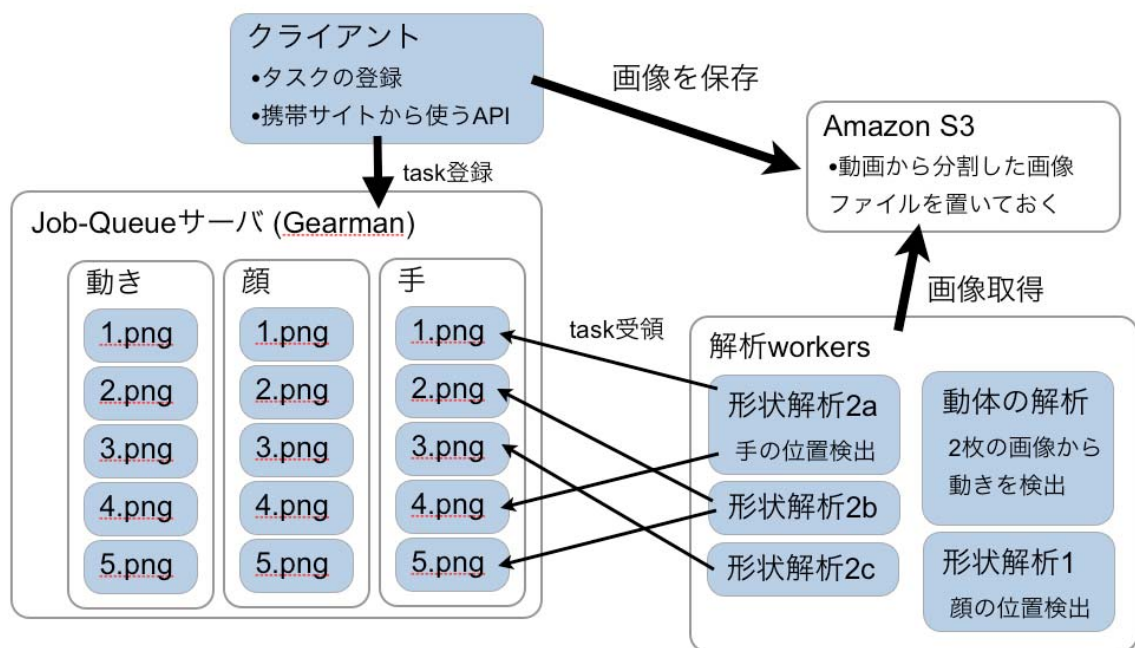


本プロジェクトの動画装飾エンジンの特徴は、素材動画の動作要素を解析、認識した上で、装飾を行うことにある。手を振る動作や、特定のポーズ、目や顔の位置等を認識するなど、正確な動画解析を実現しており、動画装飾エンジンはこれらの解析データを元に装飾機能を実装している。

本機能によって、手作業や決められた手順での装飾ではなく、コンピュータによる自動装飾が可能となりプロジェクトの発展性を飛躍的に高めている。加えて、Ruby による装飾記述も可能にしており、装飾パターンを後から自由に追加する機能も特筆すべき点である。

2) 分散処理

動画の画像解析処理は、Amazon EC2, S3 を活用し、分散処理が行えるよう実装されている。動画の画像解析処理と、装飾動画の生成処理は負荷の高い処理であり、多数のサービスを行う場合には、サービスのレスポンス時間が問題となるが、本分散処理実装により、スケーラブルなサービス実装を実現している。



3) サービス実装

実際に本サービスを広く活用してもらうために、本プロジェクトでは、複数のサンプル装飾パターンも提供している。技術者としての視点だけでなく、想定ユーザの視点で「使いたくなる」装飾を実装している。



詳しくは、本サービスのWebサイトを参照されたい。<http://www.povie.tv>

12. プロジェクト評価

ソフトウェア実装技術としては、動画解析、自動装飾、クラウドを活用した分散アーキテクチャ実装の部分を評価したいが、採択当初より、サービス企画内容が明確であったことも高く評価したい。

ユーザニーズとテクノロジーが融合することで、現代の日本文化をベースにした IT サービスがグローバルに発信可能であることを、本プロジェクトを通じて再認識させられる。携帯デバイス時代の動画プリクラとしての可能性を秘める本サービスは、すぐにでもグローバルに発信できるサービスとして高く評価できる。プロジェクトチームは、TechCrunch への応募など海外への情報発信するための活動も行っており、Facebook 対応などの Global な Social Media への対応と併せて、本サービスのさらなる展開を期待したい。

13. 今後の課題

国内携帯動画のみを対象としたサービスでなく、iPhone, FaceBook, YouTube 対応など、グローバルなサービスでの新たな展開を期待している。また、サービス実装面では負荷状況に応じたクラウドサーバの拡張実装が課題であり、装飾パターンのユーザコミュニティによる追加、動画保存、共有メカニズムの実装にも取り組むべきと考える。